

# 小林市地域防災センター

八幡原市民総合センター敷地内に整備された「小林市地域防災センター」(令和3年9月1日稼働)について紹介します。



## 小林市 地域防災センター

防災活動や大規模災害  
対応などの拠点を集約

災害ボランティア  
受け入れ拠点\*

自主防災組織  
の支援拠点

市民の防災  
意識の向上

消防団女性部  
などの活動拠点

※八幡原市民総合センターと連携して活用

### 防災組織発展のための活用に期待

近年、今まで経験のないような大規模災害が、全国で発生しています。もし、市内で大規模な災害が発生したとき、地域で支え合いができるのが、各地区で立ち上げられている自主防災組織です。

今回建てられた、小林市地域防災センターが自主防災組織のさらなる発展のために活用されていくことを期待しています。

また、地区の自主防災組織

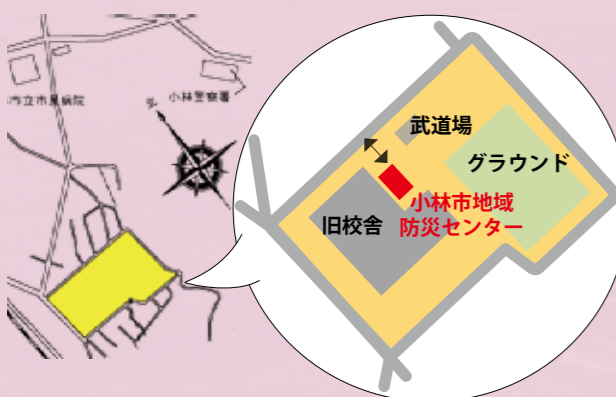
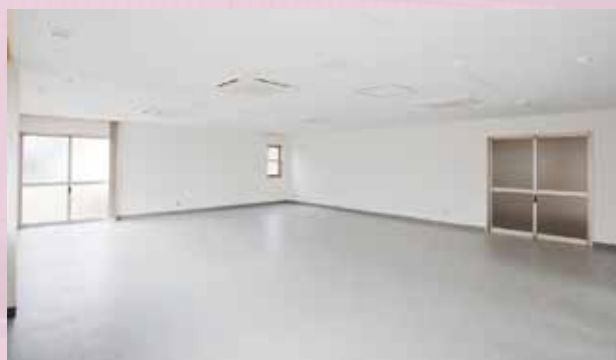


としても区・組と連携して訓練を行うなど、日頃からの備えが大切なので、防災士の取得などに、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

### 研修室が使えます

センター内にある研修室は、防災に限らず幅広い目的で利用が可能です。

- ◆ 利用可能時間  
9時～22時
- ◆ 収容人数 約60人
- ◆ 利用料金  
1時間あたり200円(予約方法)
- ◆ 予約方法  
危機管理課(本庁舎)窓口で申請 ※電話予約不可
- ◆ 問・危機管理課  
TEL 23・1175



### 災害対応の さらなる 向上を 目指して

#### 「防災・減災拠点として

市では、地域(地区)防災力や災害対応力の強化のため、自主防災組織の設立や活動支援を行い、令和元年度で市内全域、54組織(57区)の組織化が完了しました。

毎年、各自主防災組織で訓練や研修などが実施されていますが、地域によって活動に偏りがあり、全域的な地区防災力の向上にはまだまだ不十分な状況です。

しかし、南海トラフ地震やえびの小林地震など大規模な災害が想定される中で、災害を最小限に食い止めるためには、自主防災組織を中心とした各地区での防災力や災害対応力(自助及び共助)の強化が欠かせません。

そのため、令和2年度に、小林市自主防災組織連絡協議会を設立し、その拠点として「小林市地域防災センター」を整備しました。

今後は、このセンターを中心として活動事例などの共有や研さん、研修会の実施により活動促進を図っていきます。

#### 「八幡原市民総合センター」と連携活用

また、センターがある八幡原市民総合センターは、災害ボランティア受入拠点となっているため、災害時のボランティアの受け入れなどをスムーズに行えるスペースとしても活用されます。さらに、約60人が収容可能な研修室は、消防団女性部の活動や消防団の各会議で活用するほか、防災に限らず一般の人でも利用できるスペースとなります。

この「小林市地域防災センター」を市民の皆さんに防災意識向上や研修の場として活用していただけるようお願いいたします。

#### 「常に危機意識を」

危機管理課の合言葉(精神)として「常在危機」を掲げています。言葉の原型は「常在戦場」で、常在危機=常に危機(防災)意識をもって行動するという意味です。今後も常在危機を心に防災・災害対応に努めていきます。

